HIROBA
ひろば通信
第35号 平成26年12月1日発行
Support HIROBA

発行元 小樽後志地域障がい者就業・生活支援センター「ひろば」
小樽地区障がい者職業支援センター「さぽーとひろば」
〒047-0024 小樽市花園2丁目6－7 プラムビル3F
TEL 0134-31-3630
FAX 0134-24-2405
Mail: otaru168@celery.ocn.ne.jp
URL: http://www18.ocn.ne.jp/~otaru168/

支援・就労現場最前線！

平成22年から地域職業支援センター前浦の建て替いながら、就労講座と実習講座を重ね、平成26年3月に就職カッター事所に就職が決定。中野裕美さんにインタビューしました。（兵庫）

「前浦の家で実習しながら就業しました。
前浦の家ではメール後の配送、小箱つくり（梱包ストラップ等）等の作業等様々な活動をしてきました。活動を通じて技術に対しての知識、職業知識の向上、コミュニケーションの大切さ、活動をする上で接遇・注意をして行動する大切さを学びました。今も接遇して活動しています。」

ハローワークの職員さんには職業面の事方や面接の仕方などを教えていただきました。前浦の家で自分にあった就職を職員さんがみつけて紹介していただきました。就業当時は自分の能力が低められたと思いました。しかし、自分の力だけではなく、皆の力の助けがあって就業できたことだと思います。

中村さんにインタビュー！

Q1. どのような職場で働いていますか？

Q2. 働いている時に気を付けていることを教えてください。

A2. 仕事をする上で気を付けている事は自分に充実感

しりべし就労支援

みずの

―このコーナーは、しりべし圏域の就労支援を担当する「ひろば」の活動を毎回取り上げていきます！―

ワークしりべし 開催！（しりべし圏域共通）

【8月 ワークしりべし】

当センターでは、後志圏域各地で開催されている就労支援部会に参加し情報交換・地域の課題について検討する機会としています。しかし、毎ごとに各地で行われている就労部会が離れた場所、同じ圏域内においても情報が偏在に偏れて参りました。そこで、各地の就労部会に参加している当センターの所員を生かし、それぞれの就労部会で登録をしている方々に集り頂きました。思いが伝える課題を共有し、各地の就労部会の運営状況を知る事で見える課題を共有しています。今回は6月・10月に開催され、「皆が参加情報交換をしていることをもっと地域に周知していく必要がある」と各地共通した意見が挙げられました。具体的には、就業と各種事業所の連絡が皆より当事者の方が聞く機会が増えれば、周知になると言えその活動からとしてフォーラムを圏域各地で開催したいと計画しています。

「障がい者いきいきフォーラムしごとプラス」共同開催！（ゆたか）【7月 しごとプラス】

北海道市小企業家同友会 小樽・しりべし支部と共催しています「障がい者いきいきフォーラムしごとプラス」。7月には㈱リビングサプライ 余市事業所をお招きし、前回されている当事者の方と会社の関わりをお話し頂きました。9月には、㈱共立 山形事業所より講師を招える予の催しで、そして会社の職場等の立場としてお話し頂きました。お二人とも、当事者の方への配慮が会社の責任とおっしゃっていたのが印象的でした。

第1回 小樽地区就労支援経験交流会議 「@ワーク、おたる」！

【9月 @ワークおたる】

小樽市内の就労移行支援事業所を対象に、円滑な就労支援を図れるため9月に開催致しました。各事業所から課題点・疑問に感じている事や、離職防止をどう支援し、ひろばからは就労ニーズの傾向、また新たな取り組み圏域関係機関サポーター事業が、会社と当事者の就労の利益になるよう活動していることを報告し、各事業所のプラスにして頂きたいと説明しました。

さぽーとひろばニュース

さいとう

第1回あくしいとばた会議 開催。

8/27に、第1回のくしいとばた会議を開催され、介護福祉分野と障がい者総合分野の関係者たち51名が参加しました。小樽市障害者福祉課より第4期障害者福祉計画に関する説明や市民研修会の報告で話していること等のお話しを頂き、講平は参加者自己の情報交換会となりました。新聞報道に関するアレコレや小樽の地域課題である問題点も挙げられ、参加者全員で共有した課題意識を持つ機会に繋がりました。今後も開催が予定され、関係者放び皆様とのつながり作りの、会議や障害者就労の機会を作っていくことになりました。

やまもと

移動支援ガイドライン 発行。

現在の又が利用している移動支援という制度サービスにガイドラインができる事になり、小樽市障害者福祉課が開催した説明会に参加してきました。

各種関係機関事業所から参加した説明員は利用する立場に立って、どうしたら利用しやすくなるのか現状やニーズを説明し、意見を出し合い、議論いを重ね、10月にガイドラインが施行されています。皆さんのお役に立てたらと思いています。ぜひ利用する側は皆様にしてください。

所長のつぶやき…

障がいの方の職場定着がH20から発足に繋がります。H25に職場定着が60名に1人の割合で職場定着することとなっており、H30以降は障害者の雇用が義務化されることが見込まれます。職場定着は職場開拓でカウントしますので職場開拓に発足される方だけでなく職場定着の体制が確立されていなければ、職場に定着していてもその職場が離職してしまう事があります。職場定着への体制が確立されていなければ、職場開拓に時間が掛かってしまう事があるのではないかと考えています。ぜひ就労支援の現場の皆さん「職場定着」をキーワードに頑張ってもらえる職場づくりを、「障がい職場」と呼ばれる「障がいのある職場の職場」と呼ばれるので皆さんでなっていただきたいです。

今年度の活動

○平成26年11月22日～23日にかけて北海道北海道障がい者就業・生活支援センター協議会第13回全国障がい者就業・生活支援センターブロック協議会北海道ブロック協議会（山形大会）に出席。就業・生活支援センター1～10年以上の職場であり、「障がい者を職場」にとって就業に関する情報を得ることが出来ました。皆様の協力があり、「障がい者を職場」の協力者として就業に関する情報を得ることが出来ました。

○平成26年10月29日～30日で第16回障害者就業・生活支援センター研究協議会で紹介11箇所のセンターが発表して就業・生活支援センターの活動に関する紹介をしてきました。広域をカバーしている地域のセンターの実績を見ることが出来ました。各地域のセンターの人材を得られる場を就業を実現する機会となっております。

○平成26年9月13日に北海道就業支援協議で自閉症を主対象とした「障がい者就業プレジャパンウム」を開催され、参加してきました。「障がい者の職場定着」とその課題」というテーマのもと、職場開拓者の方が職場に定着するためにほどのような支援が必要なのか、職場定着の課題の解決の方法として支援者の「質」と職場についての「質」が大事であるのか、職場定着の課題となりました。

9月 登山

職場での「登山の会」を行ってあります。職場開拓手帳もあり「体」を動かさい。登山ブームな（山ガール？）ので、小樽の天狗山に登ってきました。皆さんいい汗かいて良い運動を身体の運動になりました。

11月 ばれち体験

いつもたくさんのコミュニケーション（職場実習）にて「体験実習」を開催。今回は共同研究会職場開拓者の所長 第一事業所 皆様を会場に招き、そば打ち体験をしております。所長さんの教みなそば打ちに皆さん驚くように見入っておりました。また、2種類以上挑戦させて貰ったと言う自閉症のそばつゆはつゆのつゆ味がしっかり染み込みと。でも美味しいと好評でした。自分たちが作ったそば手打に美味は格別。しそはもしようど切から盛り上がる。皆さんでした。

のうどり

地域のための職場実習・就業事業です！

8月・10月 茶話会

福祉ウォッチング

支援の開催で、「障がい者を持った方の雇を知し、制度を学びて就業現場のための会議」について考えております。平成26年7月26日（土）に、民家研修所において「皆んなのマラソン 2014」が開催され、皆様研修者さんと小樽マラソンクラブを持って3人で参加しました。当日の天気は雨でしたが、200名近い参加者の皆さんと、歩いた道筋と様を満喫した楽しい一日を過ごしました。

記

この「雨の市場（祝場）」の所様が第バージョンに変わるのを見るとあの時間に行った様をしみじみ思い出されます。今年も参加！（やり残しの様は？と考えながらの「雨天」でした。（兵庫）

「のより所を見つけたいと思ってました。質は常に磨っていて、ビタミンB1を学び若さ前向き、発展力"発信、監視機能、機能に設立つようです。確能しは機関で決まり！（さいとう）